

令和7年度 「志教育」全体計画

宮城県柴田高等学校



令和7年度 柴田高等学校「志教育」年間指導計画

3つの視点			かかわる	もとめる	はたす	かかわる	もとめる	はたす	かかわる	もとめる	はたす	かかわる	もとめる	はたす						
各教科指導目標	国語	○	○	○	地理歴史	○	○	○	公民	○	○	○	数学	○	○	○	理科	○	○	○
	多様な文章を読み解く力を養い、ものの見方や感じ方を深めながら、物事を主体的に考える姿勢を身につける。また、的確に表現し、伝え合い、議論する力を育む。				現代の世界や我が国の成り立ちを学び、地理的な差異を踏まえた文化への理解と尊重を深め、国際社会に積極的に貢献できる資質を養う。				現代の社会のしくみについて理解を深め、自己の在り方や生き方を見つめながら、他者を尊重し、主体的に社会に貢献できる公民的資質を養う。				数学的な教材に触れることで直観力を鍛え、論理的な思考を培い、あらゆる問題に対して客観的に考える姿勢を養う。				自然界の規則性や法則性を学ぶとともに、自然環境への視点を養い、地球市民の一員としての資質を培う。			
	保健体育	○	○	○	芸術	○	○	○	外国語	○	○	○	家庭	○	○	○	情報	○	○	○
	生涯にわたってスポーツに親しみ、自らの心と体の健康を適切に管理し、向上させる資質や能力を育む。				多様な学習活動を通じて、芸術を深く味わう心を育むとともに、自己表現の充実を図る。				英語で積極的にコミュニケーションを取ろうとする姿勢を育むとともに、言語や文化への関心を深め、情報を的確に理解し、伝える力を養う。				ライフプランを展望する力、生涯を見通して生活を考える力、そして生活の実践力を身につける。さらに、生活理論と実験・実習を通じて、実践的な生活力を養う。				情報に関する科学的な視点や思考力を養い、社会における役割や影響を理解させ、情報化の進展に主体的に対応できる能力と姿勢を育む。			
	体育（専門教科）	○	○	○																
心と体を一体としてとらえ、スポーツに関する専門的な理解を深め、高度な技能の習得を目指す。さらに、主体的かつ合理的・計画的な実践を通じて、健やかな心身を育む。																				
学年共通					かかわる	もとめる	はたす	各学年指導目標												
指導内容	①挨拶の励行	◎				1年	○新しい環境に適応し、規則正しい生活習慣を身につける。 ○規範意識を高め、集団の中で自らの役割を積極的に果たす。 ○学習や競技力の向上に意欲的に取り組む姿勢を養う。 ○多様な情報を収集し、自分の進路について仮決定する。													
	②ベル着の徹底	○◎																		
	③清掃活動の徹底	○◎				2年	○自律性を高め、自他の違いを認めながら、良好な人間関係を築く。 ○学習活動を通じて、自らの職業観や勤労観を深める。 ○卒業後を見据え、多角的かつ多面的に進路情報を収集・検討する。 ○進路希望をより具体化し、実現に必要な条件や課題を理解し、検討する。													
	④清楚な身だしなみ	◎																		
	⑤週末課題等各教科の課題提出	○◎				3年	○自分の能力や適性を的確に判断し、卒業後の進路を決定する。 ○自己実現と社会貢献のために取り組むべき課題を見つけ、実践する。 ○理想と現実の葛藤を経験しながら、困難を克服する力を身につける。													
	⑥校歌斉唱	○◎																		
指導内容					ねらい				指導教科等		実施時期	時数	かかわる	もとめる	はたす					
1年	未来の働き方を考える	多様な働き方を知り、自分の適性や価値観に合ったキャリアを考える力を養う。将来の選択肢を広げ、主体的に進路を決定する姿勢を育む。				総合探究		6月,9月,11月,1月,2月	5		○									
	進路適性検査・結果の考察	進路適性検査を通じて自らの興味や適性を見つめ、職業や学問との関連を考える。				総合探究		5～7月	1		◎									
	各種進路行事（講話・セミナー・ガイダンス）	さまざまな職業分野や学問分野について知識や情報を得て、職業観や価値観を養いながら、進路選択の目標設定の参考とする。				特別活動		6～3月	5	○	◎	○								
	先輩の進路選択に学ぶ（進路体験講話）	先輩の経験談を聞き、進路への考えを深め、目標実現の手がかりとする。				特別活動		2月	1	○	◎									
2年	進路適性検査の実施と結果の考察	進路適性検査を通じて自らの能力や適性を見つめ、職業や学問との関連を考える。				総合探究		5～6月	1		◎									
	到達度テスト	学習習慣を振り返り、新学年の目標を設定する。また、学期の中間で生活状況を見直し、自己評価を行い、改善に努める。				特別活動		4月, 8月	4		○									
	各種進路行事（講話・セミナー・ガイダンス）	志望する職業分野や学問分野について自ら知識や情報を求め、職業観や価値観を養いながら、具体的な進路選択の目標を設定する。				特別活動		11月	5	◎	◎	○								
	職業体験学習（インターンシップ）	職場での業務を体験し、社会の仕組みや仕事の意義を理解するとともに、キャリア意識を高めることを目的とする。主体性や協調性を養い、自己の適性を知ること、将来の進路選択に活かす。				総合探究		2月	3		○	○	○							
	先輩の進路選択に学ぶ（進路体験講話）	先輩の経験談を聞き、進路への考えを深め、目標実現の手がかりを得る。				特別活動		2月	1	○	◎									
3年	進路分野別ガイダンス	進路希望分野ごとに、目標実現までに必要な手続きや情報を収集する。				特別活動		4～6月	5		◎									
	小論文・志望理由書作成講座	小論文や志望理由書の作成に向けて、試験の概要を理解し、自らの考えを整理しながら、論理的かつ説得力のある文章を書く技法を学ぶ。				特別活動		5月	2	○	◎									
	進路講話（社会人セミナー）	社会人マナーや金融リテラシーに関する講話を受講し、社会で求められる知識やスキルを身につける。				特別活動		12～2月	2		○									
								合計時数		35										